社会動向と社会貢献活動の歩み

※斜体は世界的な動向

社会の動向（日本）

高度成長期　公害問題

- 東京オリンピック（1964）
- 初の高速道路開通（1964）
- 大阪万博（1970）

マイカー時代

石油危機

排出ガス規制

- 日本のGNP世界第2位（1968）
- 国内自動車保有台数1,000万台超え（1967）
- 交通事故死亡者数過去最高の16,765人（1970）

第一次交通戦争 ---------- 第二次交通戦争

バブル経済　環境問題

- 輸出自主規制の日米合意（1981）
- *プラザ合意（1985）*
- *モントリオール議定書発効（1989）*
- 消費税導入（1989）
- 「環境基本法」制定（1993）
- 日本自動車工業会「交通安全特別委員会」（1989）

企業の社会貢献活動・メセナ活動への関心高まる

- 経団連「1%クラブ」設立（1990）
- 「公益財団法人企業メセナ協議会」設立（1990）

バブル経済崩壊

- 経団連企業行動憲章（1991）
- 経団連地球環境憲章（1991）
- 阪神・淡路大震災（1995）

ボランティア元年（1995）

トヨタの動向

国内工場新増設による量産体制強化
国内販売体制の拡充

海外生産の本格化

- 工販合併（1982）
- 北米での現地生産開始（1984）
- 北米でレクサスブランド設立（1989）

環境問題への全社取り組み

- トヨタ基本理念（1992）
- トヨタ地球憲章（1992）
- トヨタ環境取組プランスタート（1993）
- 「トヨタ環境フォーラム」初開催（1997）
- 初代プリウス発売（1997）

国内累計生産台数	500万台達成（1969）	1,000万台達成（1972）	5,000万台達成（1986）
海外累計生産台数		100万台達成（1987）	500万台達成（1994）

年

1960〜1970年代

1969　1973　1974　1975　1976　1979

1980年代

1981　1985　1986　1987　1988　1989

1990年代

1990　1991　1992　1993　1994　1995　1996　1997

トヨタの主な社会貢献活動

- 1969　「トヨタ交通安全キャンペーン」開始
- 1973　「トヨタサマースクール」開始
- 1974　「聾学校児童のトヨタ見学会」開始
- 1974　「トヨタ財団」設立
- 1975　「トヨタ鞍ヶ池記念館」開館
- 1976　「トヨタセーフティスクール」開始
- 1979　「トヨタペットグリーンキャンペーン」開始
- 1979　「トヨタ子ども110番」開設（〜2009）
- 1981　「トヨタコミュニティコンサート」開始
- 1985　「豊田工業大学」開校（1984年大学院設置、2003年シカゴ校開校）
- 1986　「トヨタ青少年ミュージックキャンプ」開始（現トヨタ青少年オーケストラキャンプ）
- 1987　「トヨタミュージックライブラリー」開設
- 1988　「トヨタ・ヤングドライバーズコミュニケーション」開始（現「トヨタドライバーズコミュニケーション」）
- 1988　「豊田佐吉記念館」開館
- 1989　タイ「ホワイトロード」キャンペーン開始
- 1989　「社会貢献活動委員会」（豊田章一郎社長が委員長）を設置
- 1989　「トヨタ博物館」開館
- 1990　経団連「1%クラブ」加入
- 1991　米国「トヨタ 親子学習プログラム」開始
- 1991　「クラシックカーフェスティバル」開始
- 1992　南アフリカ「トヨタティーチ」開始
- 1993　「トヨタボランティアセンター」設立
- 1994　「トヨタ産業技術記念館」開館
- 1995　「社会貢献活動理念」を制定
- 1996　「トヨタ・ロビーコンサート」開始
- 1996　「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」を開始
- 1996　「トヨタ・アートマネージメント講座」開始（〜2004）
- 1996　「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」開始（〜2004）
- 1997　「トヨタの森」を一般公開
- 1997　「トヨタ・マスター・プレイヤーズ・シリーズ」開始
- 1997　「トヨタふれあいコンサート」開始（〜2003）

社会貢献活動の本格化

トヨタ交通安全キャンペーン

バブル崩壊後も社会貢献活動を継続

「トヨタ博物館」開館

科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー

:環境　:交通安全　:人材育成　:社会・文化　:文化・展示施設　:その他

社会動向と社会貢献活動の歩み

※斜体は世界的な動向

1990年代	2000年代	2010年代
	新興国の台頭、グローバリゼーションの拡大	さらなるグローバリゼーションへ
	• 世界の人口が60億人を突破(1999)	
	地球環境問題への関心が高まる	
• NPO法(1998)・・・NPO活動の活性化	*• 京都議定書発効(2005)*	*• リーマンショック(2008)*
	• 愛・地球博(2005)	• 東日本大震災(2011)
	• ETCシステム全国運用開始(2001)	• 東京オリンピック、パラリンピック(2020)招致に成功(2013)
	CSR元年(2003)	*• 「持続可能な開発目標(SDGs)」国連で採択(2015)*
	若者のクルマ離れ	
	平成の大合併による新しいまちづくり(1999〜2010)	
	グローバリゼーションの急拡大	• リコール問題(2010)
• 環境部発足(1998)	• CSR方針「社会・地球の持続可能な発展への貢献」(2005)	• トヨタグローバルビジョン発表(2011)
	• 国内でレクサス店の営業開始(2005)	• ココロハコブプロジェクト(2011)
		• トヨタ自動車東日本株式会社設立(2012)
	• 中国での現地生産開始(2000)	
1億台達成(1999)		1億5,000万台達成(2013)
1,000万台達成(1998)	3,000万台達成(2006)	5,000万台達成(2011)

年	内容
1998	「エコのもりセミナー」開始(〜2005)
1999	「在日ブラジル人自動車整備技術修得コース」開始(〜2017)
	「MEGA WEB」オープン
2000	「トヨタ・チャイルドセーフティコミュニケーション」実施(〜2012)
	「トヨタ環境活動助成プログラム」開始
2001	「トヨタ コレオグラフィーアワード」創設(〜2016)
	中国「砂漠化防止活動」開始
2004	「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」開始(〜2015)
	「ネットTAM」開設
2005	「トヨタ白川郷自然學校」開校
	「トヨタ交通安全センター モビリタ」設立
	「社会貢献基本方針」を策定(P4掲載)
2006	「体験型交通安全イベント」開始
	「あんぜんのこどもサイト「こどもビリタ」」開設
	中国「トヨタ助学金プログラム」開始
2007	「社会貢献推進部」発足(従来活動していた部署を統合)
	「CSR委員会/社会貢献活動分科会」設置
	「トヨタ三重宮川山林プロジェクト」開始
	フィリピン「熱帯雨林再生活動」開始(〜2013)
2008	「トヨタ原体験プログラム」開始
2009	「豊森」プロジェクト開始、「豊森なりわい塾」開講
2011	「TABLE FOR TWO」導入
	トヨタグループ関係会社による「東日本大震災被災地復興支援ボランティア活動」開始
	ブラジル「トヨタ・コスタ・ドス・コライス」プロジェクト開始
2012	「TOYOTA SOCIAL FES!」開始
2014	「トヨタ モビリティ基金」設立
2015	「トヨタ女性技術者育成基金」設立
	「MIRAIへつなぐ「夢の教室」in豊田」開始
2016	「スペシャルオリンピックス日本」とナショナルパートナー契約締結
2017	「スペシャルオリンピックス国際本部」とグローバルパートナー契約締結
2018	「TDRS(トヨタ災害復旧支援)」開始

「環境」「交通安全」「人材育成」をグローバル重点領域に

中国「砂漠化防止活動」